

かがやけ南 心はひとつ

南小学校は、「かがやけ南 心はひとつ」をスローガンにして勉強運動・学校行事などの活動に取り組んでいます。

南小学校の自慢は、二つあります。

まず、5年生が取り組んでいる「三原やっさ」の踊りと地方演奏です。4年生の3学期から練習を始めますが、自信をもって演奏したり踊ったりできるように、朝の始業前や昼の休憩も使って練習を積み重ねています。私は、5年生の時に唄を担当しました。やっさ振興協議会の先生のような声が出るように何度も練習を重ねましたが、とても難しく、なかなか思い通りに唄うことはできませんでした。初めて先生にほめてもらった時のことは、今でもよく覚えています。今、6年生になって、5年生が一生懸命練習している音が聞こえてくると、私たちの伝統である「三原やっさ」を受け継ぐためにがんばってくれているんだなど、うれしい気持ちになります。

次は、私たち6年生が取り組んでいる「器楽演奏」です。トランペット・トロンボーン・ユーフォoniumなどの金管楽器、鉄琴・木琴・打楽器・鍵盤ハーモニカなどを使って演奏します。曲名はジャズの定番「シング・シング・シング」です。昨年の6年生が演奏して好評だった曲に私たちも挑戦することにしました。新たな南小の伝統となるよう、5年生の3学期から練習に励んでいます。私は、鍵盤ハーモニカの担当で、ソロパートでの演奏を目指し、毎日練習をしています。なかなかうまく演奏できず、投げ出してしまいたくなる時もありますが、友達と励まし合いながら、いい演奏をしようとがんばっています。市民音楽祭や学習発表会では、すばらしい演奏ができるようにしたいと思っています。このように、いろいろな活動に、みんなを心をひとつにして取り組み、成功を重ねるたびに、私たちはかがやいてきました。そのことが、私にとって、南小学校の一番の自慢です。市民の皆様、ぜひ一度、南小学校においでいただき、私たちの「三原やっさ」「器楽演奏」をごらんください。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

—連載第14回—

糸崎小が大好き

糸崎小学校で、私たちが、がんばっていることを紹介します。

一つ目は、糸小太鼓です。運動会や学習発表会などで6年生が演奏しています。今までの先輩たちが受けついできました。テンポがよく、みんなが引き込まれるようなリズムです。覚えるのは大変ですが、毎年6年生が5年生に教えることで伝統を引き継いできました。演奏する6年生は下級生にとって憧れの存在になっています。

二つ目は、業間マラソンと業間なわとびです。大休憩になると全校のみんなが運動場に集まります。業間マラソンは、音楽がなっている間、グラウンドをみんな走りまわります。そして、走った距離をカードに記録していきます。一年間で全校のみんなが、42・195キロメートルを走ることを目標としてがんばっています。業間なわとびは水曜日に行います。いろいろな技ができるように挑戦しています。技ができるようになるとカードにシールをはってはげみにしています。このように、私たちは日々目標を決めて体力づくりに取り組んでいます。

三つ目は、あいさつ運動です。毎週水曜日の朝、児童会役員が3カ所に分かれて、レベル5のあいさつができるように取り組んでいます。レベル5のあいさつとは、「相手にとどく、相手より先に、目を合わせて、笑顔で、おじぎをして」です。今年になって、私がいさつをすると「おはようございます。」と大きな声であいさつを返してくれる人がどんどん増えていきます。

このような糸崎小が私たちが大好きです。道の駅から見下ろす糸崎の町と瀬戸内海も大好きです。いつまでも大切にしていきたいです。

